

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年11月9日更新

事務事業名		食の自立支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	内田 秀一郎
	施策	15	健康づくりの推進			所属課	高齢者支援課	担当者名	橋村 綾子
	基本事業	43	病気になる生活習慣の確立			所属班	高齢者保険班	(内線)	2115
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	介護保険法合志市食の自立支援事業実施要綱	
		介護	11	2	5	10354		成果優先度評価結果	
								コスト削減優先度評価結果	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景、きっかけ、今後の状況変化を含む)	概ね65歳以上のひとり暮らし等高齢者に食事を提供するとともに、安否確認を行う。食の自立のための「閉じこもり予防事業」や「訪問介護」などでも食事サービスを行っているため、食事がいるかどうかを確認して、食事を提供する。原則、1日1回、週5回まで提供できる。配食するかどうかや、配食数は、実態調査を行い、地域ケア会議で決定する。自己負担は、普通食450円、特別食は500円である。配食時に元気にしているかどうかの確認をしてもらう。国の補助事業で、ひとり暮らし高齢者の健康管理における食生活の改善のための事業として、平成6年に地域支え合い事業が出来たので、それに併せて旧町で事業を開始した。平成17年度で国の補助制度が廃止となった。(平成19年度より介護保険事業の任意事業に移行した。)22年度より、利用者の負担金を50円引上げ、市の負担を50円引き下げ400円となる。
【業務の流れ】	申請の受付、訪問による実態調査、調査票作成、ケア会議開催し決定、配食事業者の選定、決定通知書を送付、配食事業者への情報提供、サービス開始、1箇月単位で請求のあった市負担分を配食事業者に支払い。
【主な予算費目】	役務費、委託料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	利用者からは、配食数を増やしてほしいとの要望がある。利用者からは、食事の量が多い、あるいは少ない、まずいなどの意見がある。家族からは、高齢者に向けた食の提供ができていないのかとの意見がある。家族からは、回数を増やしてほしいとの要望がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動)22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
概ね65歳以上のひとり暮らしの高齢者又は高齢者のみの世帯へ食事を提供するとともに安否確認を行う。配食総数3,500食。	概ね65歳以上のひとり暮らしの高齢者又は高齢者のみの世帯へ食事を提供するとともに安否確認を行う。配食総数3,600食。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
ア 実態調査数	件	民間配食業者の増、利用者負担の単価改定による減。
イ 配食回数	食	
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
65歳以上のひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、日中独居高齢者で調理ができない人。	人	ア 65歳以上の高齢者数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
栄養のバランスが摂れた食事を手に入れられる。	人	ア 配食を受けた高齢者数
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠		

(2)各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度	
① 活動指標	ア 件		49	58	70	62	70	70	70		(期間限定複数年度のみ記載) 0
	イ 食		6,372	4,543	5,000	3,011	3,600	3,600	3,600		
② 対象指標	ア 人		10,100	10,385	10,800	10,540	11,000	11,300	11,600		
	イ										
③ 成果指標	ア 人		74	56	60	41	60	60	60		
	イ										
投資 入費 量	財源内訳	国庫支出金	千円	1,061	1,412	1,041	478	580	580	580	
		都道府県支出金	千円	530	706	521	239	290	290	290	
		地方債	千円								
		その他	千円	588	706	520	239	290	290	290	
		繰入金	千円	421	705	520	239	290	290	290	
	一般財源	千円									
	(A) 事業費計	千円	2,600	3,529	2,602	1,195	1,450	1,450	1,450		
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	正規職員従事人数	人	4	4	4	6	4	4	4		
	延べ業務時間	時間	244	200	200	201	200	200	200		
	(B)人件費計	千円	976	796	796	828	824	824	824		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,576	4,325	3,398	2,023	2,274	2,274	2,274		

事務事業名	食の自立支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	----------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE) ※原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 死亡等により対象者が少なくなったため。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 この事業を利用しないと食事の確保や、栄養のバランスが採れた食事が採れない高齢者がいるため継続して事業を行う必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 安否確認の部分は、安心確保事業 (緊急通報システム装置貸与) で対応可能。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 本人負担分をこれ以上高くすると、近隣市町と比較し合志市民の負担が多くなる。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 230時間の業務時間を工夫して短縮できないか？食の自立支援対象者に対し、定期的に訪問し介護保険ケアマネジメントと調整し、食事の提供の回数や廃止を決定しているため削減の余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 高額所得者と低所得者の利用料が同一であるため、低所得者対策を実施する必要あり。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						